

2026年度 P6 高エネルギー宇宙実験

担当：物理学第二教室 宇宙線研究室(CR)の教員
鶴剛 教授、榎戸輝揚 准教授、高田淳史 准教授、
内田裕之 助教、米田浩基 助教、林 多佳由 特定助教



2025年4月4日のCR花見

高エネルギー観測で挑んでいく宇宙の謎

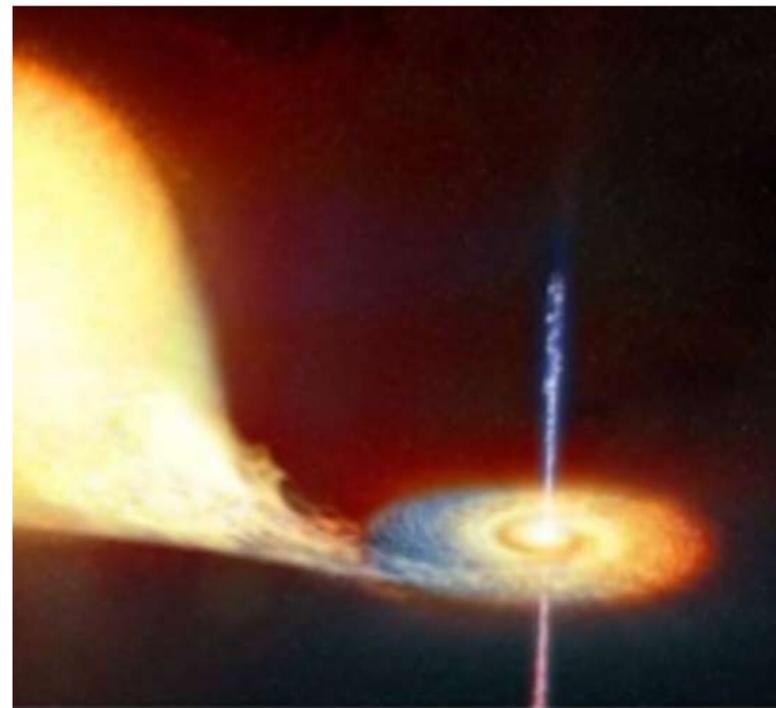
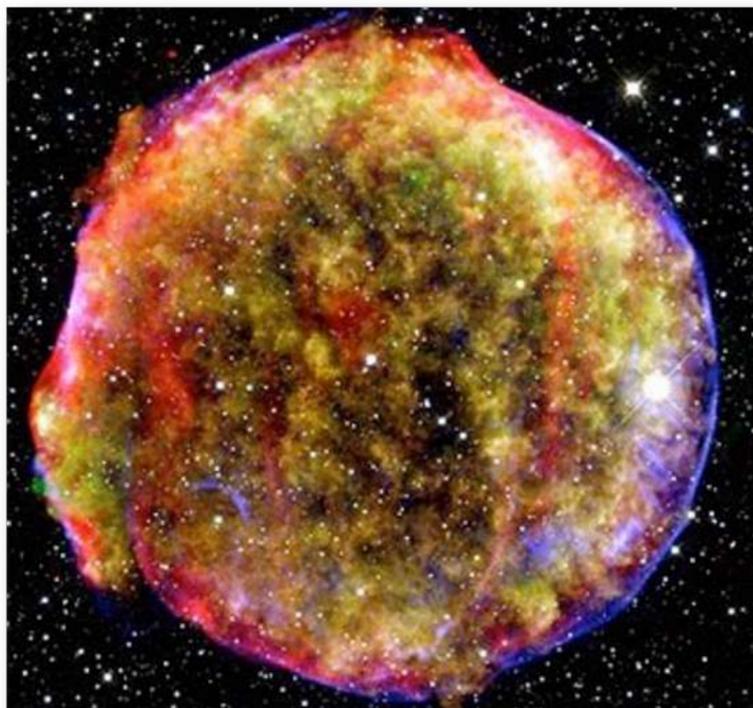
- **宇宙には貴方に解かれるのを待っている謎がたくさん残されています！**
- 高エネルギー宇宙線はどこから来るのか？超新星残骸？ブラックホール？
- 世界最高性能の XRISM 衛星や大気球ガンマ線でどんな宇宙を暴けるか？
- ダークマターの正体は何か？宇宙観測やその技術で、尻尾を見つかるか？
- 宇宙最強の磁石星マグネターは、謎の高速電波バースト (FRB) の正体か？
- 月面探査の時代に、宇宙放射線で人類は月に水を見つけられるか？

超新星残骸

X線連星 (ブラックホール)

ダークマター (銀河団)

中性子星

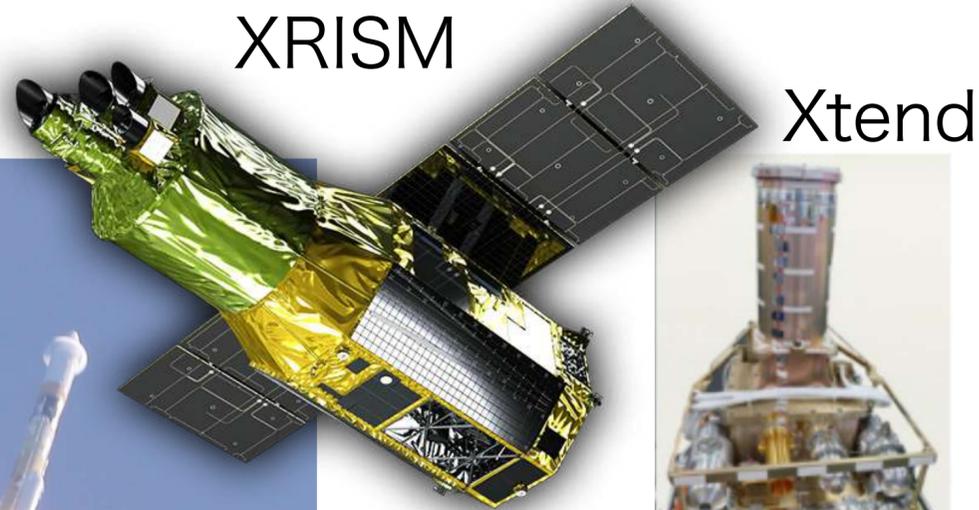


自ら開発した装置で宇宙を観測する研究室

- ・ 歴代のX線衛星を開発した研究室で、X線CCDや硬X線検出器の開発と観測を牽引
- ・ 未踏のガンマ線天文学を自ら切り開く、コンプトン望遠鏡の開発と大気球観測
- ・ キューブサット衛星や国際宇宙ステーションを使った宇宙観測を近い将来に実施
- ・ 宇宙線を使う新展開：月の水探査、雷雲・雷の観測、月周回機で中性子寿命の測定

X線

XRISM衛星の打ち上げ



XRISM

Xtend

MeV

大気球実験 SMILE



GeV



Fermi

TeV

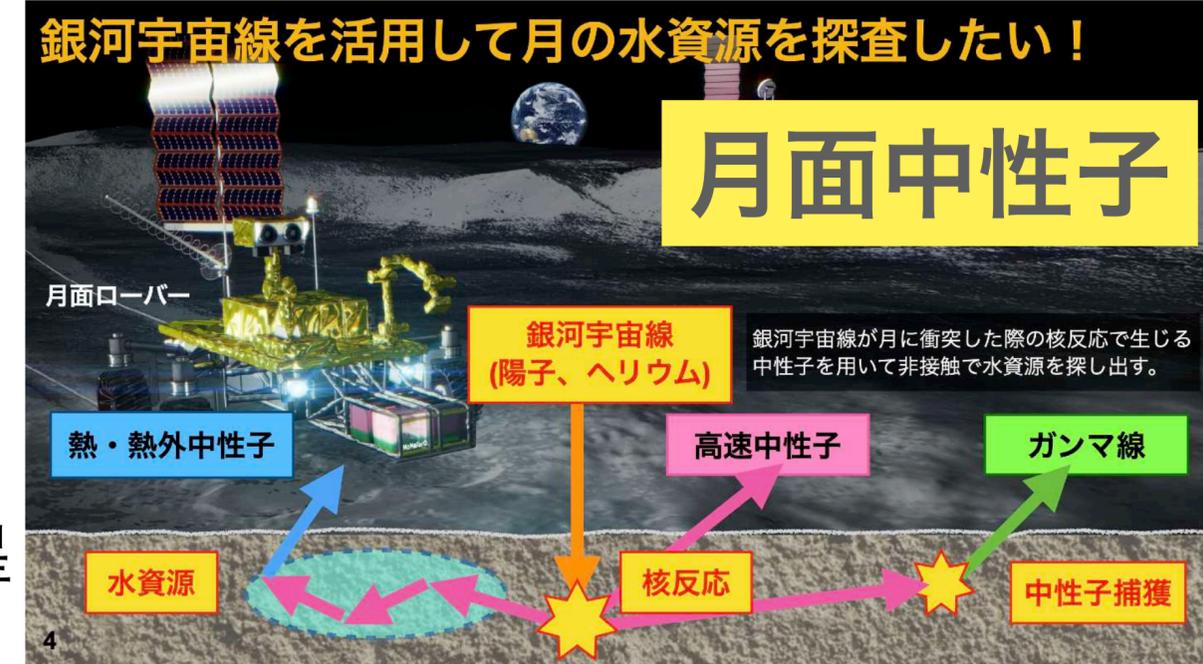


CTA

口径23m望遠鏡
カナリー諸島 標高2200m



キューブサット衛星 NinjaSat



銀河宇宙線を活用して月の水資源を探査したい！

月面中性子



課題研究 P6 の進め方

楽しくやりましょう！

- **自ら手を動かして、宇宙観測や装置開発のミニプロジェクトの実践が目的**
- **ゼミ（輪読）**
 - 宇宙物理学の教科書（毎週）
 - 放射線計測とX線・ガンマ線観測の教科書（前期、隔週）
 - 統計学の教科書（後期、隔週）
- **実習（通年）**
 - 3~4グループで、自作の装置開発と実験、天体観測データ解析
 - スタッフと一緒にテーマ設定、狙えば論文も書けるかも？
 - 1ヶ月に1回の頻度で進捗報告会、3月に成果発表会

<http://www-cr.scphys.kyoto-u.ac.jp/gakubu/P6.html>

(物理第二教室宇宙線研究室の web からたどれます)

連絡先：cr-staff [at] cr.scphys.kyoto-u.ac.jp